

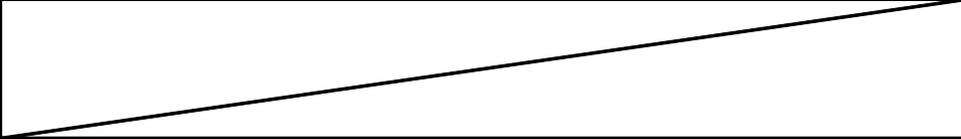
## 市長と語る会(H27. 6. 30住吉文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	<p>今年度の総合防災訓練は、従来どおりの実施方法で計画をしているのか。防災訓練は実際の避難場所で訓練をしないと意味がなく、風呂の状況や着がえの場所、トイレの状況、備蓄の状況、夜は誰が学校の鍵を開けるかなど、細かいことまで行えば、安心して避難することができると思う。</p>	<p>平成24年度までは、1つの学校に関連団体が集まり、近隣の人が避難した想定で防災訓練を実施していた。しかし、具体的な訓練となるよう、平成25年度からは、参加型の総合防災訓練を3会場で実施することとしたが、初年度は台風で開催できず、昨年度初めて実施をした。</p> <p>ただ、まずは、家自体や家具が倒れないような対策と、自分の家に備蓄をしていただきたい。それでもだめなら避難所へ行くしかないが、避難所は混乱状態になる。市では初動班の職員を決めているが、行けなかった場合も想定し、運営する人をしっかり育てておかなければいけない。</p> <p>また、この夏には防災連絡会議を文化センター圏域ごとに設けて、各自治会の防災担当の人に集まっていただき、情報交換をしたいと思っている。</p>
2	<p>多摩川沿いに高い建物は建てないようにしてほしい。地元とすれば、市に取得してもらい、公園など市民に役立つものにしていただきたい。</p>	<p>心身障害者福祉センターから多摩川に向かう道は、工場があるほか、国土交通省が使っているが、河川敷であるため、国の方で、工場関係以外では使わせないことになっているので、建物が建つことはない。</p> <p>しかし、多摩川は治水がよいため、河川敷でなくして民間に売るという話が出ないとも限らないので、十分に注意したいと思う。ただ、地元の自治体は優先的に貸してもらえるので、国から使っていいという声があれば、すぐに市で使いたいと考えている。</p>
3	<p>コミュニケーションを図るには、皆さんに拠点に集まってもらうことが大切で、知り合うことによって、人を助ける力も湧いてくると思う。そういう方向に取り組んでいきたいと思うので、市でも応援をしていただきたい。</p>	<p>みんなが知り合いになれば、仲間もでき、あの人を最近見かけないという話にもなり、よい影響は多いと思う。</p>
4	<p>青少年対策地区委員会のイベントは、多くの地域の方に参加いただき、行事を通して地域の方と知り合いにもなれる。市からの補助金で運営をしているが、徐々に減ってきているので、これ以上下げないでほしい。</p>	<p>補助金は、市の部長で構成される補助金審査委員会で決められている。補助金の総額がある中で、全体の5%減らさなければならぬとなると、一部だけを増やすことは難しく、全体を下げざるを得ない状況になっている。来年度予算は現状維持できるように努める。</p>
5	<p>青少年対策地区委員会でバス研修会があるが、以前よりバスが取りづらくなっているのはなぜか。</p>	<p>バスの貸出は、事務事業点検において、府中市でしか行っていない事業のため見直したほうがいいという結果を受けたが、今は続けている状況にある。しかし、夜行バスの大きな事故があり、運転者の給料や福利厚生が見直されて単価が上がったため、貸出バスの数が少し減ってしまっている。</p>

## 市長と語る会(H27. 6. 30住吉文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
6	地域の老人会の会長のなり手がおらず、年々数が減ってきている。	これから、地域の団体をどういうふうにしていけばいいのかは非常に悩んでいる。市でどこまでできるかという部分もあるが、ぜひお知恵をいただきたい。
7	子どもたちが帰る時間に子どもの見守りの放送が流れているが、子どもたちが帰ってしまった後に流れることがあるので、流さないようにするか、きちんと時間を見て放送した方がよいと思う。	逆に子どもが帰る時間を知らせるのはどうかという意見もある。ただ、犯罪者心理としては、市全域でそのような放送をした方が、どこかで誰かに見られるのではないかと考え、抑止力になるのではないかとすることを、警察などと協議をしたものである。
8	遊歩道にある梅を、以前は皆さんが採っていたが、今年は誰も採らず、実がたくさん落ちていた。過去に、郷土の森博物館の梅を採るバイトの募集記事を広報で見たが、遊歩道の梅もそうした方がよいのではないか。	5月が暑さで実がなるのが早く、落ちるのも早かったという話を聞いた。 (広報課からの回答) 街路樹として植えている梅は、基本的には食べられない花梅という梅で、早く落ちてしまうようである。郷土の森博物館にある梅は一般的な梅なので収穫ができると聞いている。
9	新聞で、都市部の人口がふえて病院が一杯なので、田舎の病院を利用した方がよいという記事があったが、府中は病院は足りているのか。	府中には都立の総合医療センターがあり、周辺もメディカルプラザとしての機能が充実し、そのほかの地域も医療機関が充実しているが、逆に、常に高度な医療が必要な方は府中に引っ越してくるという面がある。 高齢者用の医療を伴う介護施設は慢性的に足りていないので、地域包括支援センターと社会福祉協議会、市、そして地域の皆さんとの連携で、住みなれた地域で最期を迎えられるような福祉政策を進めなければならない。
10	高齢者のお祝い金の配布回数が減り、顔を合わせる機会が減って心配である。お祝い金でなくても、この辺りにこのような高齢者がいるというような情報を、個人情報に配慮した範囲で提供してもらえると助かる。	70歳の祝い金は、市長に当選したときに来年度の方針の説明で廃止になると聞いた。ただ、廃止して何年か経っているので、復活させるのは財政的にも難しい。今、熱中症の予防カードを配っていただいているが、あまり評判がよくなくて、毎年いまいちだと言われているので、どういものがよいのか検討する。

市長と語る会(H27. 6. 30住吉文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
11	<p>学校との懇談会で子どもの虐待の話になり、学校に行っている間は守れるが、家へ帰ってからの虐待を見てほしいと言われ、夜に家の周りを見回っていたが、逆に不審者に思われたらしく、警察官が見回りに来たため、翌日は見回りをやめたことがあった。</p>	<p>子どもに対する親の虐待の通報と相談は減ることがなく、非常に残念であるが、虐待の未然防止、早期発見、重篤化防止のためにも、通報、見回りの重要性を感じている。</p>
12	<p>青年会も若い人たちが少なく、若い人は加入しづらいようである。ほかのまちで市民が一体となって何かに取り組んでいる事例があればお聞きしたい。</p>	<p>若い世代の人が忙しく、団体に入ってもらったり、団体から離れた方が戻ってくるのは難しいようである。また、伝統的なことを続けなければいけない面もあるが、新しい人はそこに入るのに抵抗があるようである。 最近、公園や川をきれいにするなどのボランティア精神に基づいて人々が集まってくるという新たな展開も見られている。</p>
13	<p>市のバスを使っているが、業者がバスに乗れない決まりがあるのはなぜか。乗ってもらえればいろいろと説明もしてもらおうこともできる。</p>	<p>明確な基準は把握してない。ただ、市として目的を決めて使用していただくものであり、営利の関係や自主的な活動の範囲から外れてしまうなど、何か理由があると思うので、規定がある以上は守っていただきたい。理由は明確にしておく。</p>
14	<p>市から色々な依頼が来て、忙し過ぎるのが悩みである。町会の役員の皆さんに忙しい思いをしていただきながらまちづくりをしている。</p>	
15	<p>ちゅうバスを利用しているが、交通系の電子マネーカードが利用できるようにしてほしい。</p>	<p>ちゅうバスは交通不便地域の解消と、高齢者の方が出かけやすい環境をつくるという福祉の目的で導入し、ある程度の市の負担は仕方ないと考え、運賃を100円としたが、現在は、1年間に1億円の赤字になっている。お話いただいたカードの件を含め、様々な要望があるが、ちゅうバスを使用していない方の方が多いことを考えると難しい面がある。</p>